

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 25 年 10 月 31 日 [木] 19:30～20:30
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 5 名 欠席委員数 2 名

出席委員の氏名

深田 剛／中村 修／岩崎 勇登／重田 朱美

欠席委員の氏名

濱田 洋一郎／山田 梨香

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／沖元 眞実／盛島 拓史／上野 紋／渡 陽子／宮田 愛

#### 4 議題

審議(「3」について)

#### 5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 審議(『シマグチ NEWS 島ゆむ TIME』について)
- (3) 次回の審議議題について

#### 6 審議内容

- (1) 濱田委員、山田委員の欠席の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(「シマグチ NEWS 島ゆむ TIME」)

#### 深田委員長

みなさんこんばんは。第40回あまみエフエム放送番組審議会ということで、『シマグチ NEWS 島ゆむ TIME』について、どういった番組かご存知だとは思いますが、簡単におさらいという形で読み上げてからスタートしたいと思います。

放送日時ですが、本放送は毎週日曜の朝7時半から、再放送が本放送同日 日曜日の夜7時からと、本放送の翌日月曜日の13時半からの15分番組となっております。

目的は、シマの文化である島口の普及、啓発に努めるということで、出演はボランティアスタッフ2～3名で構成されております。これは「島ゆむたを伝える会」という会がありまして、その会のメンバーが中心となって番組を運営しております。構成は以下となります。

1. コーナーの紹介
2. シマジマでの1週間の出来事(新聞記事より)を島口で紹介。
3. 2の内容について、それぞれ島口でのフリートーク

今回これを議題にするにあたりまして、番組審議会の皆様にお尋ねしたいことは4項目ありますが、それ以外でも構いませんのでお話をして頂きたいと思います。

議論して頂きたい4項目について

- ・主に2,3人でのトークとなっているが人数は適切であるか。
- ・島口の解説等があった方がよいのかどうか。(今のところは解説なしで放送している)
- ・放送時間が長すぎないか、または短すぎないか。
- ・その他、気づいた点、改善点等。

あとは、割愛いたしますが、トラック1, 2, 3という形でそれぞれ別の方が入っておりました。またその点に関しても皆様のご意見等をお聞かせ頂けたらと思います。先に濱田洋一郎委員からのご意見を読み上げたあとに、重田委員から順にご意見をお願いいたします。

それでは**濱田委員**からの意見を読み上げます。

【『シマグチ NEWS 島ゆむ TIME』は、とても好きな番組で、再放送でよく聞いております。顔見知りの大先輩もいらっしゃるし、3人の語り口、合いの手、相槌の入れ方が絶妙だと思います。新聞記事を語り口調にするのは大変だと思いますが、その後のむん話(方言訳:雑談)も含め、普通にゆんきゃぶって(方言訳:おしゃべりして)いく感じが好きです。自分が笠利出身ですので、他の地域の言葉が耳なれない気はするのですが、ずっと入ってくる空気感がいいですね。島ゆむたの勉強にもなりますし、また出演されている島ゆむた伝える会のメンバーの個性がきちんと出ていてさすがです。互いにその個性をぶつけ合うことなくうまくミックスされている所が素晴らしい。出演者はそれぞれメインキャスターでもあり、コメンテーターでもあると思います。

島口の解説はこの空気感を損なう気がするので入れなくてもよいと思います。時間は15分が適当ですね。長くもなく短くもなくちょうどいいと思います。委員の皆様といろいろお話をしたかったのですが、今回欠席いたします。】

**深田委員長** 時間のことも濱田委員は15分が適当だという意見でしたね。

それでは次は重田委員の方からよろしいですか？

### 重田委員

みなさんこんばんは。1番の項目から順に、思ったことを言っていきたいと思います。3人でのトークという人数は適切かということですが、聞いていて、このくらい的人数で私は気にはならなかったもので、いいと思います。これ以上だと、たくさんの方が重なって来て、逆に聞き取りづらくなるのではないかなと思いました。

2番の項目に関しては、“がっつり方言”だけの時間の番組としては、このままでいいのかなと思いました。私みたいに所々わからない島口だと、頭に入ってこないというか、そういう所は聞き流して、だいたい意味のわかる所だけが頭に入るので、そういう人にとっては、もしかしたら若干解説みたいな感じであってもいいのかなとも思いました。ただ、そうすると放送時間が長くなるのが少し気になるかな、とも思いました。もし解説を入れたらどんな形になるかな、と考えてみたのですが、「こんな感じのことを話していた」といった、簡単なものを入れるしかないのかなと思いました。そうすると放送的にもあまり長くないし、もし放送の時間に問題がないのであれば、丁寧に解説を入れてもいいのかなと思いました。でも別にこの番組的には、私は聞いていておもしろく感じたので、このままでいいと思いました。

3番の項目に関しては、長すぎだとは全く思いませんでした。もっとあってもいいのかなと思ったりもしたのですが、話をされる方のことを考えたら、話題がなくなってきたりとか、会話をつなげたりするのがきつくなりそうだったら、楽しく話ができて終われるくらいの時間ということで、15分というのはいいいのかなとも思いました。

その他、気づいた点に関してですが、今回はトラック3まであって毎回出てくる人が違ったので、それぞれの雰囲気もあって、それが楽しく聞けてよかったです。いろんな地区の方が出ているのか、若干聞いたことのない方言の語尾の言い回しとか、若干違うイントネーションとかアクセントなどが感じられたので、それがいいと思いました。最初に自分の出身地区、どここの生まれとかそんなのを言っていたので分かりやすかったです。

あとは、初めてこの番組を聞いたのが車の中で、出勤中とかの、どこかに向かう途中だったので、1回目聞いたときは、正直まったく頭に入ってこなくて、聞き流す感じでしたが、3回4回聞くうちにやっと耳も慣れてきて、何を言っているのかすらすら頭に入ってくるようになりました。自分でも最初なぜだろうと思ったのですが、これだけ「島口だけ」の会話というのが普段あまりないので、私は祖母と一緒に住んでいましたけど、祖母も私に話すときは標準語に言い換えたりしてくれて、ずっと島口だけの会話を聞いているということがなかったので、何回か聞いて、慣れてやっとわかったという感じがありました。家でCDラジカセで聞こうと思って意識して聞くと、だんだんわかってくるという感じだったので、私のような30代前半の年齢でも、全然島口がわからない子とかもいるので、そういう人には何を言っているのか分からない人もいっぱいいるだろうなあと、番組を聞いた率直な感想でした。でも、島口だけの番組というのは、私はとてもおもしろいと思いました。以上です。

### 深田委員長

ありがとうございました。重田委員も言ったように、最初に出身地を言うというのが、聞く人にもどこの誰で、どこの出身者でという興味が駆り立てられるというか、非常にいいなと思いました。

重田委員に質問ですが、今回本放送と他に、再放送が2回となっていますが、この回数的にはどう思われますか？

### 重田委員

そうですね、今まで審議の議題にでてきた他の番組に関しては、再放送はたいてい1回でしたので、回数に関しては他のより1回多いなぐらいにしか感じなかったです。

### 深田委員長

再放送が一番多い番組というのは、最高何回あったのですかね？それでも2回ですか？ また、再放送がない番組というのもあるのですか？

### 一放送局 丸田

3回あるものもありますね。再放送が無い番組というのは、生放送ぐらいですかね。

### 深田委員長

では続きまして、岩崎委員お願いします。

### 岩崎委員

正直に言いますと、今回CDを聞いてこなかったです、すみません(一同爆笑)。でもこの番組は聞いたことはあります。岩崎あきこ姉さんとか知り合いで、非常におもしろい島口漫談とかされる方で、何回か聞いたことはあるのですが、龍郷の保さんもされているなあともあります、(質問項目の)1番目からいうと人数も適切で、島口の解説も必要ないんじゃないかなと、時間もちょうどいいのでないかと思います。

その他の件ですが、ちょっと思うのは、島口を語られる方が、現在のニュースに関していろいろ話されることに

最初ちょっと違和感を感じたんですね。なんで昔の島口なのに今のことについて話すのか、今のことに関しては私たちが詳しく知っていますし、テレビで解説委員がいて分析しているので、あえてこの方々たちにそれを聞くことがいいものなのか、とも思いました。

そうすると、皆さんがやっている昔のニュースを読むのがあるじゃないですか。ああいうのにつなげたり、昔のことを島口でやった方が盛り上がるのに、現在の(ニュース)ではちょっと合わないのではないかと思ったところですよ。

もう一点、英会話入門ということで、私も英会話を勉強するのですが、一番難しいのはビジネス英会話なんですよね。いったらこれ(シマグチ NEWS 島ゆむ TIME)はビジネス英会話クラスのもので、英会話には入門もあって日常英会話もあってというステップがあるように、島口においても、入門編、日常編、上級編などのステップ、段階を作っていけば、聞く人もステップを踏んでいって島口を学ぶことができるという勉強にもつながると思うのですが、今は体系立てていないというか、バラバラに島口の番組が位置付けられているので、聞くほうも目的意識のようなものがつかみづらいのではないのか、とも思いました。

### 深田委員長

ありがとうございます。岩崎委員は会社も経営されていますので、ちょっと質問なのですが、もしこの番組にスポンサーが付くとしたら、どういった企業がいいと思われますか？道の島交通でもいいんですけど。(笑)

### 岩崎委員

昭和10年から30年代出身ぐらいの方が経営する企業をターゲットにしたらいいのではないのでしょうか。

### 深田委員長

ありがとうございます。聞きたいと思ったのですが、取り上げている新聞記事に関して、単独の新聞社のももののか、それとも2社からのものなのか、交互なのかとか、教えていただけますか？だいたいかぶってるんですよ、ニュースは。

### 一放送局 丸田

そうですね。出演者については、収録時に都合が合う方を選出させてもらっているのですが、選出記事に関しては、1週間の話題の中で、出演者の方々がその話題を知っているかとか、それぞれの出身地の話題であるとかを基準に2社(南海日日新聞社、奄美新聞社)から記事を選んでおります。また、それ以外の、子どもたちに関する記事なども選んでお話してもらっております。

### 岩崎委員

僕なんかも同じで、聞いていて(方言が)わからず頭に入ってこない、それだったら、ワンステップ落とした番組を始めようとか、そういうなんか“しかけ”みたいなのをやりましょう！(一同笑)

### 深田委員長

ありがとうございます。では次に中村委員お願いいたします。

### 中村副委員長

私はこれを昨日聞きました。(一同笑) たまたま陽子さんから電話があつて、やばい！聞いていない！と思っ

てあわてて聞いたんですよ。イヤホンで聞いてたんですけど、ついつい笑ってしまうぐらい、めっちゃくちゃおもしろくて、自分が一番大好きな番組です。

ディ！ウェイヴさんが、パーソナリティーの方々ももちろん積極的に方言を使っているし、他の番組でも、「英会話の OVA」だったり、山田薫先生の朝の「きゅうぬゆしぐとぅ」だったり、すごく方言をとりこんでやっているのはとてもいいなと思います。英会話のオバの方言と、「きゅうぬゆしぐとぅ」に比べるとこっちの方が方言のレベルが高いですね。島口のレベルが高くて、おそらく若い子なんかは全くわからないだろうなと思いつつ、自分にしたらかっちの方が勉強になるというのがあって、自分的にはこのくいぐいとした島口のレベルは落として欲しくないと思ってます。この新聞のネタというのは、地域ネタということで陽子さんが決めるの？

#### 一放送局 渡

私が、その方の出身の所だったり、あとから見直した時に、一年間の間で記憶に残るようなニュースを選んでいきます。

#### 中村副委員長

それぞれの地域ごとの個性があって、自分なんかは笠利のも聞けるし、独特なひぎゃ(奄美大島南部方言)のも聞けておもしろいんだけど、一番自分の中で良かったのは岡島洋子さん。もう、喜界の(島口が)くいぐいしているもんだから、自分なんか方言はわかっているつもりでも、さすがにこの人のは濃ゆくてわからなかったんだけど、たまにわからないワードがあったけれども、話を聞けば、あーそうなんだ、喜界ではこういうんだ、というのがかえって楽しくて、ちょっと知らない単語が出てくるのも、よかったです。だから、他の人のものはある程度聞こえたんだけど、岡島さんの回で聞こえないのが入ってきた時におもしろかったし、おそらく(岡島さん意外の)他の人のものも、島口があまりわからない人なんかは、そういった感じで聞いてるんじゃないかなと思って、すごく良かったです。

いろいろ先ほどから島口が難しいとかあるんだけど、自分的にはこのレベルで突き進んで欲しいと思います。それと、これは陽子さんが収録に立ち会っているの？

一放送局 渡 いつも立ち会っています。

中村副委員長 会話には加わらないけど横に座っているということ？ここでやってるの？

#### 一放送局 渡

いつもここでやっているのですが、流れとしては一回新聞記事の読み合わせをした後に、その新聞記事をわかりやすく簡単な文章にしたものを一旦読み合わせて、それぞれの島口で読んだときに、それはぬーち意味よ？(方言訳:どういう意味かしら?)とかいって、例えば岡島洋子ねえ(姉)のがわからない時に、みんなからツッコミがあるのでそこで読み合わせをして決めて、その後のむん話でどんな話をするかというので、さきほどの岩崎さんの話にもつながるんですけど、このニュースについてずっと話すというよりも、例えばカツオ漁について勉強会があったけれども、むん話では、「昔はどどこでカツオ漁が盛んだったね」というような話に持っていくような感じを目標にやっている所です。

#### 中村副委員長

話の派生の仕方がいいなと思いますね。最初の前半のくだりはただ読むだけなんですけど、後半のくだりでどんどこから違う話、島の文化の話しにそれていくわけじゃがね。いいなあっち(方言訳:いいなあって)思って聞

いていたもんだから。

#### 一放送局 渡

実は15分以降には、もうどんどん話が止まらなくなるぐらいだいたい流れがよくなって、もう少し長くてもいいのかなと思うんですけど、すごく盛り上がっていて、岡島洋子ねえなんか言葉が全然わからなかったんですよ、私も。でも一年か二年ぐらいやっていますが、言葉が全然わかるようになってきました。喜界島の言葉がなんとなく聞き取れるような、耳が慣れてきているのかな。

#### 中村副委員長

それとその他だけど、例えば中で間違っただけを言っている場合は、そっち(放送局側)で訂正してあげられないのかなあと思っています。

例えば、トラック3では、「あれ、これ違うはずだけどなあ」って思ったのが、瞬くんの話なんか、夜に着いて十何時間かかったとか言っているけど、おそらく3時間で着いているはずよね。ずっとフェイスブックとか見ていたけど、朝、国頭出たら与論には3時間ぐらいで着いてるのよ。おそらく間違っているよ。

#### 一放送局 渡

細かい部分に気付かなかった所があるかもしれません。

#### 中村副委員長

このくんだりでは板付け舟だったら1時間でいくとか言っていたけど、おそらく1時間で国頭から与論までは・・・、30キロぐらいあるからね。板付けではおそらく1時間では行かんよなあとか思いながら聞いたりとか、あと、追い込み漁で前日に網を入れるとか、おそらく刺し網漁と勘違いしているなあとか、明らかに間違っているところが、ちょこちょこ出てきているのよ。

#### 一放送局 渡

そこは私も気付かずにやっていました。気付いたら訂正できるようにします。ありがとうございます。

#### 深田委員長

ニュースソースの話が出ましたけど、やっぱり気持ちとしては島限定の話題を中心にしたいと思っていますね。

#### 中村副委員長

そうですね。ローカルな話題がやっぱり。そうじゃないと、さっきおっしゃったように、中途半端な解説されても、他でばんばんいろいろな解説が流れてきているのに、それよりかは他では取り扱わないような話題じゃないと意味ないよね。

深田委員長 そうですね。話が派生するというような意味でもね。次に柳委員お願いします。

#### 柳委員

こんばんは。ほとんど全部意見を言ってもらったので、特に無いのですが、とりあえずお尋ねしたいことについてお答えします。

2, 3人のトークで適当か?ということですが、これ以上増えては聞きづらい所もあると思うので適当だと思いま

す。島口の解説については、先ほどもありましたが、このまま島口だけのトークでもいいような気もしますが、方言が全然わからない人たちもいると思うので、単語とか軽い解説があってもいいのかなと思います。時間も今ぐらいでいいのではないかと。あとは意見というか、いつも思うことなんですけど、私たち世代は方言が話せなくてもなんとなく意味がわかっている、とか思うんですけど、それから下の世代、私たちの子供の中学生、高校生になったら、自分のことももうワンって言わないんですよ。みんな俺って言うんですよ。ワンって言う子がいなくて、方言がどんどんなくなっていくことが悲しいかなあという感じはします。だからこの放送を大事にして欲しいと思います。あとはこの、再放送のことですが、私は再放送の月曜の一回しか聞けないんですよ。仕事中にほとんど聞いているので、日曜の朝とか仕事しても 8 時からだったりとか、夜は聞けなかったりとか、だから一回しか聞けない人もいると思うので、このままでいいのかなと。以上になります。

### 深田委員長

ありがとうございます。ちょっと柳委員にご質問ですが、多分このネーミングは島ゆむたの会が作ったわけではないと思うのですが、『シマグチ NEWS 島ゆむ TIME』のネーミングについての感想がありますか？

### 柳委員

これは新聞の話題についてトークしているのでいいのではないかと。今の内容的には合っているのではないかと思います。

### 深田委員長

このネーミングはケンゴ兄(放送局 麓)が作ったのですか？(うなづいたのを見て) はい。

中村副委員長 チヂンのリズムが頭にこびりつくよね。(一同笑)

深田委員長 憲吾兄以外の方がネーミングを付けることもあるんですか？

一放送局 麓 ありますよ。自分に付けさせろという訳ではないです。(笑)

深田委員長 そうなんですね。(笑)確認のために。

### 岩崎委員

一点よろしいですか？先ほどの再放送の件があったんですけど、再放送の一回は同時通訳的な、BBC ニュースみたいな感じでやったら、日本人の人が冷めた日本語でやるじゃないですか、ああいうので一本だけいれて通訳付きってやってみては。それを聞いたあとに勉強になるというか。

### 一放送局 麓

2, 3年前の島くとうばの日に同時放送で俺たちこんなのやったんだぜって感じで、一回同時にやってみたことはあります。おもしろいことはおもしろい。時間がかかるというのもあるし、島口をひんにやぶった(方言訳:茶化した)? 感じに聞こえがちにはなってしまいますね。

一放送局 丸田 ちょっとアメリカドラマみたいな感じになっちゃうんですよ。(一同笑)

一放送局 麓 その方がおもしろくなってしまうというか・・・

深田委員長 15 分番組なのに制作の手間がかかってしまっはですね・・・

一放送局 上野 本当に海外同時通訳みたいに一人の人がやったらまた違うかもですね。

一放送局 丸田

その時は3人の配役分の人数をこちらで用意して、いつもお三方でお話されるので、それにこちらの3人を付けて訳していくという感じになりますね。

## 深田委員長

沖永良部ゆむたが分かる人を添えんばいかん、ひぎゃゆむたが分かる人もおらんばいかんということですね。

## —放送局 麓

しょっちゅうするには、ちょっと厳しいかもしれませんが、実際おもしろいので機会があったらぜひやりたいなど。

深田委員長 素朴な質問なのですが、島口の日はいつなのですか？

—放送局 丸田 2月18日ですね。ふとうばの語呂合わせからです。

## 深田委員長

ありがとうございます。それでは最後に私から感想を。

全般的には良かったのですが、1つだけ、多分CDのからみだと思うのですが、最初のトラック1の喜瀬の山田さんの声がちょっと小さくてですね、もともとああいう語り口の方なのでマイクの配置を山田さんの席の近場に置くとか、その他の女性の方は元気な声で、山田さんと声の大きさに差があったのでその点が1点だけ気になりました。

それ以外で基本的に思ったのは、今回の番組は、わかる、わからないが問題の番組じゃないということを感じました。全部1から10までが聞き取れないということが問題ではない、これは私の私見ですがそういう思いがありました。やはり遊びが大切じゃないかと。やはりハンドルでもブレーキでも同じですが、ディの中の番組はほとんどが遊びと言われたら何もいえないですけど、僕はある意味の遊びではないかと思いました。それはある意味年齢層が関係するとか？野球でもずっとストレートばかり投げたら打たれますけど、変化球があってこそ他の若手の番組が生きるというか、そういう意味でひとつ大切な番組ではないかと思います。高齢者番組があるお陰で若者の番組が引き立つというような気持ちがありますね。

この番組自体で、まあ荒削りっぽいというか、それは素人の方に来ていただいてボランティアでしゃべってもらっているんで、パーフェクトではないけれど、丁寧がいいとは限らないと感じる番組ですね、それがまた良さ、味になっているなど非常に感じました。

それで、私自身40ですけども、こういうのを聞くと、どっか話が話したい、また使いたいと思うような番組だと思います。話したいなとそういう欲求が生まれて、島の言葉を全部若いのにキレイにしゃべりきった時のあのカッコよさというか、実際にいるんですよ、先輩にも。お年寄りも全部キレイにしゃべっている先輩がたがいらっしゃるので、そして、さっき陽子さんが1年間聞いていたら、しゃべれるというか、聞き取れるようになったっけ聞いたので、そういうふうになりたいなど。

ユウト(岩崎委員)くん、英語を覚えるには、単語を覚えんで、そういうのをいっぱい耳にいれたらしゃべれるようになるの？英語って。

岩崎委員 しゃべれるんじゃないですかねえ。単語帳とか持って聞きたいですね。(笑)

## 深田委員長

先ほどの項目3の方は、みなさんに言ってもらったことと大体一緒だったので、自分なりに思った雰囲気の話で、



具体的ではなかったのですが、そんな感じに思いました。(自分からは)以上です。

一通り、みなさんに議題としてあがった「シマグチ NEWS 島ゆむ TIME」の番組についてお話してもらいましたが、制作側から補足などはありますか？

#### —放送局 渡

先日から、ゆんきゃぶりに参加してくださる方を募集していたんですけど、中村委員からご紹介頂いて、大和浜の大崎さんが参加して下さることになりました。ありがとうございます。ぜひ、まだまだ募集しておりますのでよろしく願いいたします。

#### 深田委員長

はい、ありがとうございます。他に議題の「シマグチ NEWS 島ゆむ TIME」の番組以外であまみエフエムにご質問等ありますでしょうか？岩崎委員にありそうですね。(笑)

岩崎委員 いや、ないです。(笑)

深田委員長 ありがとうございます。

#### (3) 次回の審議議題について

#### 深田委員長

それでは、次回の審議会について、審議内容ですが、えーっと、さっき読み方を練習したんですが(笑)、「なちかしやみくいば ちゅんなまうがでい」についてですね。丸田さん、すみません、もう一度意味だけ教えてください。

#### —放送局 丸田

はい、とても懐かしいお声を今拝むことができますという、島唄の歌詞から一節から取っております。

#### 深田委員長

ありがとうございます。これがですね、みなさんのテーブルに資料のCDがきていますけれども、それを聞きながらですけれども、もし実際のリアルな本放送を聞く機会がありましたら、また期間がありますので放送時間を読み上げますのでぜひ聞いてみてください。

本放送は、毎月第3日曜日13時から60分、そして再放送が翌月曜の23時から、そして翌火曜の21時から、そして翌水曜日の16時からとなっております。

そして目的が、島の文化である島唄の普及啓発に努める、ステージ上に立つことのない集落の唄者の紹介ということで、出演はボランティアスタッフと前山真吾さんですね。

構成が1がコーナー紹介、2で朝花節を演奏してスタート、島唄との出会いからうかがう、そして3で生まれ島特有の唄などの紹介や、今後の若手への一言など、ということです。

これを聞いていただいでですね、みなさんに3項目、島唄に興味を持てるようなきっかけになっているか、この番組がですね、そして島唄の解説などもっと詳しくしたほうがいいのではないかなどという所にご意見いただけたら嬉しいとのこと。そして時間の尺ですね。時間やブレイクのタイミングはどうかといった所で、感覚的などこ

ろで一般リスナーの気持ちでお答え頂けたら多分大丈夫だと思いますのでよろしくお願いいたします。そして収録されている音源情報は9月15日日曜日放送分の出演された栄シズさん、宇検村芦検の方ですね、そして米田愛子さん、この方も同じく宇検の方ですね、そういった方の放送分となります。それを聞いて次回、よろしくお願いいたします。

ではここで、次回の進行について丸田さんお願いいたします。

**中村委員** これ、今ひとりでやってるわけ？新元やってないの？

#### 一放送局 丸田

はい、前は新元一文さんと前山真吾さんの2人でされていたのですが、お仕事の都合もあり、またディ！制作側も者前任者に変更私がしております。そして、前山さんが前々から希望されていたことですが、集落の中にいる、シマで歌われている名プレイヤーというか、唄者さんがいらっしゃるの、そういうのを聞いてきたい、自分も勉強したいということもあり、またそういったものを放送すれば、いい記録になるのではとも思いますので。そういったことで、こちらのスタジオで収録するのではなくて、いろんなところに赴いて、直接お話を伺うやり方に変更して行っています。なかなか、こちらに来てくださいとって足を運ばれる方が少ないので。私と前山さんと2人で機材を広げて、お話を伺うという状態です。

ぜひ宜しくお願いいたします。

次回の番組審議会が12月12日木曜日、19:30からに決定し、閉会する。

#### 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

#### 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成25年11月30日(土曜日)6:00～放送
- ② 書面の備置き:平成25年11月30日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成25年11月30日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに掲載

#### 9 その他の参考事項 なし